

高砂市 新たな学校づくり通信

～こどもたちに最適な教育環境を提供するために～

vol.
12

■『第7回高砂市新たな学校づくり推進審議会』を開催しました！

令和7年12月に「第7回高砂市新たな学校づくり推進審議会」を開催しました。

第7回では、高砂市が目指す「これからの学校像」のイラストと高砂市新たな学校づくり推進審議会から教育委員会に対して行う中間報告の案についてご審議いただきました。

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 令和7年12月11日(木)19時00分から |
| 開催場所 | 高砂市役所分庁舎1階大会議室 |
| 出席者 | 15名(会長 押田 貴久) うち11名出席 |
| 傍聴人数 | 0名 |
| 審議内容 | 1. 高砂市が目指す「これからの学校像」 2. 「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】(案) |

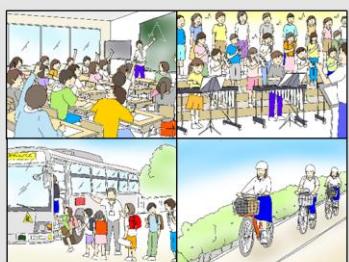
Q: どうして中間報告をするの？



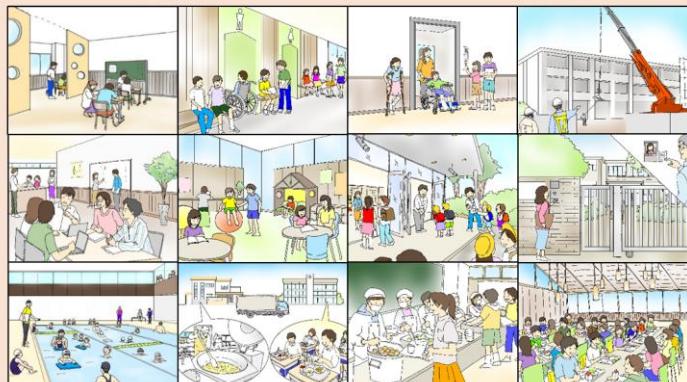
■高砂市が目指す「これからの学校像」

高砂市が目指す「これからの学校像」の見える化について、第6回審議会や庁内委員会での議論を踏まえ、イラストや表現を精査しました。

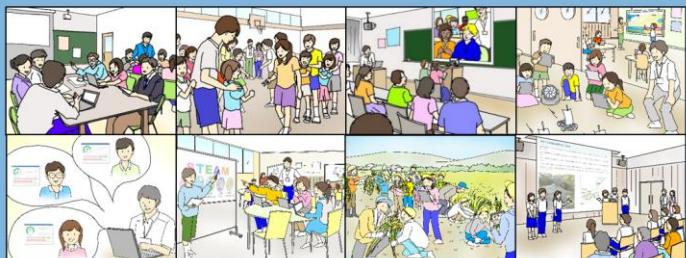
<高砂市が目指す「これからの学校像」>



多様な教育活動ができる
学習集団の規模の確保



安全・安心、快適に過ごすことができる施設の整備



新しい時代の学びに対応した教育環境の整備



学校・家庭・地域の連携の充実



A: 学校のあり方や再編案などをこれから検討するにあたって、審議会で審議してきた学校の現状や課題から見えた方向性を早い段階で市民の皆さんと共有するためだよ。

■ 「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）

これまで審議してきた学校を取り巻く現状と課題、様々な立場の方から行った意見聴取の結果などを踏まえて、これからの学校像や4つの目指すべき方向性を打ち出し、中間報告(案)として整理しました。

＜「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案） 構成＞

はじめに

1 学校を取り巻く現状と課題

- (1) 児童生徒数の推移と推計
- (2) 学級数の推計
- (3) 老朽化状況
- (4) 40年間の維持・更新費
- (5) 通学区域・学校配置
- (6) 学校施設・運営面での教育課題

3 これからの学校像

4 4つの目指すべき方向性

- (1) 多様な教育活動ができる学習集団の規模の確保
- (2) 新しい時代の学びに対応した教育環境の整備
- (3) 安全・安心、快適に過ごすことができる施設の整備
- (4) 学校・家庭・地域の連携の充実

参考資料

2 意見聴取

■ 主な意見

1. 高砂市が目指す「これからの学校像」

- ・ 学校・家庭・地域の連携の充実のイラストについて、地域に関するものが多いが、家庭は地域の中に含めて考えているのか。
- ・ 「これからの学校像の見える化」という資料だが、“見える化”という表現は内部資料のような印象を受ける。

2. 「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）

- ・ 資料の表現が20年後と40年後のものがあってわかりにくいので、合わせた方が良い。
- ・ 数値を示して、具体的にいつまでにやるのかを明記した方が良いのではないか。
- ・ こども園と小学校が隣接していると、小学校に進学してからも園が見えて、先生も見える安心感から頑張れるという声をよく聞く。
- ・ 保護者は自分の子がどういう環境で学んでいるのか、どういう過ごし方をしているのか気になるので、子どものことはもちろんですが、学校の環境についても保護者に伝えることが大事。
- ・ 高砂地区では、こども園・小学校・中学校が隣接しているので、いろいろな交流が行えている。
- ・ この中間報告は誰に読んでもほしいのかを考え、高砂STEAM教育やサポートルームなど、一般の方が知らないような用語には注釈を入れた方が良い。
- ・ 通学方法について、自転車や公共交通機関を利用した通学、スクールバスの運用など具体的に書いた方が良い。
- ・ 家庭も地域も一体的にこどもたちを見守り育てていきましょうというニュアンスだと思うが、家庭に関してどのような安心感を提供できるかも記載できないか。

■ 今後の予定

第8回審議会

日 時： 令和8年1月29日(木)19時00分から
場 所： 高砂市役所分庁舎1階大会議室

第7回審議会

